

「思春期の子どもをもつ保護者の皆様へ」

思春期は、子どもから大人への過渡期であり、一生のうちで最も多感な時期です。心と体の成長がアンバランスで、時には思いもよらない行動に走るようなケースも見られます。

私たち大人が、特に、子どもにとって最も身近な存在である保護者の皆さんが思春期の子どもの変化や特徴を理解し、適切にかかわっていくことが重要です。

子どもと適切にかかわるための5つのポイントを紹介しますので、参考にさせていただきますようお願いします。

子どものよさを認め、誉める

子どもの悪いところばかりを指摘していませんか？
子どものよさや頑張りをしっかり認め、伸ばすとともに、子どもを信じて待つことも大切です。



子どもの心に向き合う

子どもの話を聞いていますか？どんなに忙しくても、子どもの様子を見て、子どものサインを見逃さず、話をしっかり聴きましょう。



親の願いを伝える

子どもときちんと向き合っていますか？たとえ子どもが嫌な顔をして、保護者の思いや願いを真剣に伝えましょう。

間違いはきちんと正す

善悪を判断する力を育んでいますか？間違った行動に対しては、毅然として指導することが必要です。しかし、暴言や体罰では、子どもの健やかな成長は望めません。

子どもを皆で支える

家庭内でしっかり情報を共有していますか？家庭、学校などがしっかり役割分担し、協力して子どもとかかわりましょう。



主な相談機関

保護者ふれあいテレホン（子どもと親のサポートセンター）	083-987-1243
おやこホットライン（中央児童相談所）	083-932-3939
思春期ほっとダイヤル（県立総合医療センター）	0835-24-1140